

上越市教育コラボ 2020 学び愛フェスタ

<http://www.jecomite.jorne.ed.jp/festa/index.html>

11月1日は「上越市教育の日」、11月は「上越市教育を考える市民の月間」です。

今回は新型コロナウイルス感染症対策をふまえ「学びを止めない!『新しい生活様式』の下で学び続けよう」をテーマに、展示とオンライン・イベントのみで開催します。新たな形態の「学び」を体験してみませんか。

日時: 11月7日(土) 展示は12日まで
10:00~15:30 (開場9:30)

会場: オンライン・高田城址公園オーレンプラザ

各施設イベント: 上越市立歴史博物館・小林古径記念美術館
釜蓋遺跡ガイドス・高田城三重櫓・日本スキー発祥記念館

オンライン・イベントの紹介

●GIGA スクールで上越の教育はどう変わる?

国のGIGAスクール構想を受け、上越市でも整備に向けて準備が進められています。

現在行われているGIGAスクールの上越市の取組について紹介した上で、ICTの活用によって学びがどのように変わっていくのか、シンポジウム形式で考えます。

YouTube Liveで限定配信します。質問、感想、御意見はコメントで随時お寄せいただけます。また、閲覧・参加を希望される方は、YouTube Liveのアドレスをお知らせするため、事前登録をお願いします。

13:30 開始です。



●プログラミングでデザインしよう

大学生(院生)、専門学校生、エンジニアの人たちの支援のもと、<https://www.tinkercad.com/>を使い、ブロック・プログラミングによって簡単な3Dデザインを行います。最初は、シンプルな構造をデザインし、その後に自分で考えたデザインをプログラミングします。

作成したデザインは、3Dプリンタで印刷可能なデータとして保存可能です。

①10:30~ ②13:00~ ③14:30~
各回定員10人です。

小学3年生から高校生までの方で、ZOOMを使ってミーティングができるICT環境が必要です。また、プログラミングに使うPCの要件があります。詳しくは、申し込み用WEBページをご確認ください。また、参加を希望される方は、資料の配付やZOOMのミーティングIDをお知らせするため、事前登録をお願いします。

イベント参加受付開始は 10月15日から

参加登録はこちらから→

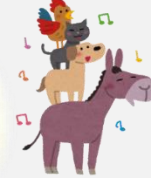


●ドイツ文化リモート・トークショー

ドイツ文化への理解や親近感を高めてもらうために、ドイツ文化トークショーを開催します。昨年度も好評をいただいたドイツ大使館広報文化部専門官 ホーボルト・幸夫さんをゲストに、「これぞTheドイツ!」というテーマで、ドイツ定番のものについてお話しします。進行役は、ドイツ人国際交流員のディーツ・ヤニックさんです。



ホーボルト・幸夫さん



ディーツ・ヤニックさん

ZOOMを使ってミーティングに参加できるICT環境が必要です。また、参加を希望される方は、ZOOMのミーティングIDをお知らせするため、事前登録をお願いします。

定員は100人 10:30 開始です。

●オンラインでALTと交流しよう

毎年好評のALT(外国語指導助手)との交流を、今年はオンラインで実施します。外国語を使った遊びや、本の読み聞かせなどを通じて、ネイティブな外国語に親しみましょう。

Google Meetを使ってミーティングができるICT環境が必要です。また、参加を希望される方は、Google Meetのミーティングアドレスをお知らせするため、事前登録をお願いします。

10:30 開始です。

オンライン・イベントの紹介 ※以下の2つは、オンラインか上越教育大学会場か選択

●みんなで感じよう・つくろう バリアフリー2020

令和2年度「体験学習」Mコースでは、「共生のまちづくりを考える - <WheeLog!>を使って -」をテーマに取り組んできました。「共助」の心によって創られてきた「雁木のまち高田」を車いすで歩き、バリアフリーマップ作成アプリ<WheeLog!>を使いながら、高田のまちの人々と交流しました。そこで得られた様々な気づきをご報告します。「共生のまちづくり」について、一緒に考えてみませんか。

【学習成果発表】

- ・「雁木のまち高田」を車いすで歩いた中で考えたこと
- ・共生のまちづくりについての提案

定員は40人 13:00開始です。

参加の方法は (1) ZOOM によるオンライン参加(25人) (2) 上越教育大学会場での参加(15人) の2つです。どちらも、事前登録をお願いします。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、中止となる可能性があります。

●みんながくらす みんなでくらす を考えるためのワークショップ

自分自身の防災手帳を作成することを通して「みんながくらす」「みんなでくらす」ことを考えてみませんか。

防災手帳の作成には、障害のある児童生徒等に応じた災害対策に関わる具体的な行動計画を立てることを目指した、国立障害者リハビリテーションセンター研究所開発『障害者の災害対策チェックキット』を用います。ワークショップ参加者が、上越市における人的・物的な地域資源を、地図や映像、資料等で確認し、話し合いなどを重ねながら、自分自身の防災手帳を作成します。

定員は25人 14:00開始です。

参加の方法は (1) ZOOM によるオンライン参加(10人) (2) 上越教育大学会場での参加(15人) の2つです。どちらも、事前登録をお願いします。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、中止となる可能性があります。

高田城址公園オーレンプラザ 展示の紹介(11月7日~12日)

●地域青少年育成会議の活動紹介

[会場：エントランスホール、交流コーナーほか]

●「新しい生活様式」におけるスポーツ活動

●令和3年度全国高等学校総合体育大会「輝け君の汗と涙 北信越総体 2021」

●上越市はドイツのホストタウン！自由研究・アートポスター・パネル展

●子どもの人権に関する啓発パネル展

●認定！「地域の宝」

●「うみのごみ@学び愛フェスタ」

●学校実習コンソーシアム上越の紹介

●「体験の風をおこそう」妙高風だより

各展示パネルに表示されているQRコードを読み込むと、展示パネルの紹介動画が流れます。ご覧ください。



各施設 イベント

上越市立歴史博物館・高田城三重櫓・日本スキー発祥記念館

市内の小・中学生と同伴の保護者の観覧料を当日に限り無料にします。
(受付で「こどもの日パスポート」を提示してください)

小林古径 記念美術館

●あなたのスマホがガイドに変身 ☆アプリで美術館散歩

第1回 10:00 第2回 15:00

●「どようワークショップ」 “工作にチャレンジしよう”

材料費 100円が必要です。(10:00~12:00)

※いずれの催しも別途入館料が必要です。

歴史 博物館

●高田城のスゴイところ発見ツアー

定員 20人(小学3年生以下は保護者同伴)

※参加希望者は11月5日(木)までに歴史博物館
(025-524-3120)へ申し込んでください。

釜蓋遺跡ガイダンス

●釜蓋遺跡を学ぼう

学芸員による展示などの解説

- ①10:00 ②11:00 ③12:00
- ④13:00 ⑤14:00

主催 上越市教育コラボ2020 学び愛フェスタ実行委員会

(上越市教育委員会、上越教育大学、国立妙高青少年自然の家、上越地域学校教育支援センター、上越市校長会、上越市教頭会、日本教育新聞社)

問い合わせ：上越市教育委員会 教育総務課 ☎025-545-9243